

令和 4 年 9 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

令和4年9月 定例飯舘村教育委員会会議録

1 招集日時 令和4年9月28日（木）午後4時00分

2 招集場所 飯舘村役場 2階 第一会議室

3 出席委員

教育長	遠藤 哲
教育委員（教育長職務代理者）	高橋 祐一
教育委員	菅野 クニ
教育委員	庄司 智美
教育委員	星 弘幸

4 欠席委員 なし

5 説明のため出席した者

教育課長	高橋 政彦
指導主事	蓮 實 修一
生涯学習課長	藤井 一彦

6 開 会 午後4時00分

教育課長 皆様お集まりですので、令和4年9月の定例教育委員会を始めていきたく思います。

7 日程第1 教育長あいさつ

教育長 皆さん、こんにちは。おかげさまでもちまして、こども園、学校ともに大きな事故、問題もなく、今年度間もなく折り返しの時期を迎えます。そして、2学期からは新たに転入生8名を迎えて、118名の子供たちが毎日元気に園や学校生活を送っています。

新型コロナウイルス関係でご心配をおかけしておりますが、現在のところ感染拡大は見られません。また、30日の金曜日には、園・学校関係の希望者を対象に、村内でのオミクロン株対応ワクチンの接種を予定しております。

学校行事関係ですが、8月31日から2泊3日で4から6年生の宿泊学習がいわき海浜自然の家で行われました。さらに9月になりますと、7月に相双地区の中学校駅伝大会、そして本日、川俣町の小学校との陸上交歓会が村の陸上競技場で開催されました。今ほど見てきましたが、リレーについては残念ながら表彰には入りませんでした。本当に子供たち少ない人数で頑張っておりました。それからこども園関係ですが、11日日曜日に敬老会に出演予定でしたが、これは残念ながら中止になりました。ただ、22日の第2回の保育参観が予定どおり行われております。それから、7月に延期されていた園・学校合同でのPTA主催の夏祭り、これは18日日曜日に規模や参加範囲を縮小して実施されています。以上が主な行事についての報告です。

本日は、諸報告のところで全国学力・学習状況調査について説明ありますが、結果の公表については、受験者数も2つの学年とも1桁であります。小6が5名、中3が3名という人数ですので、全体的な傾向とは言えませんので、また1村1校ですので、児童生徒あるいは指導者も特定されるので数値の公表はいたしません。が、昨年と同様に保護者に通知と、それから村の広報10月号で各教科や生活状況の課題等の概要を公表することといたします。また、そのほかに年度ごとの学力の伸びを見るために、県が独自に行っている福島学力調査、これは調査対象の4年生から8年生まで全体的に見ると、学力の伸びが見られます。これまでの学力向上策を継続、強化を図るよう指示をしたところです。

本日もよろしくお願いいたします。

8 日程第2 会期の決定及び書記の指名

教育長 それでは早速、日程第2、会期の決定及び書記の指名であります。会期については本日1日間、書記については高橋政彦教育課長を指名いたしますが、これについてご異議ありませんか。

全 員 異議なし。

教育長 ありがとうございます。

9 日程第3 令和4年8月定例教育委員会会議録の承認について

教育長 日程第3、8月の定例教育委員会会議録の承認について、事務局より説明をお願いします。

教育課長 それでは、8月定例教育委員会の会議録について、確認をさせていただきたいと思えます。（以下説明）

教育長 それでは、ただいま説明がありました8月定例教育委員会の会議録について、委員の皆様方からご意見等あればお願いします。（「特にありません」の声あり）

ありませんので、承認ということでご異議ありませんか。

全 員 異議なし。

教育長 ありがとうございます。

10 日程第4 諸報告について

教育長 それでは、諸報告についてですが、まず、事務局より行事日程と2番までお願いします。

教育課長 （資料に基づき説明）

教育長 諸報告の1番、そして2番について説明がありましたが、委員の皆様方から質問等あればお願いします。（なし）

続きまして、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果及び公表について指導主事から説明をお願いします。

指導主事 （資料に基づき説明）

教育長 委員の皆様方からの質問等あればお願いします。

星委員 毎年行っていて、数値は公表しない、少人数でということでは理解しています

が、以前は確か数値をここで明らかにしていただいて、内容を確認して、公表するとかの話をしたと思っていましたが、今回数値をまとめた結果だけを見せていただいても、傾向というのは分かりますが、実際のデータと比べてどうだったかというのは何も判断できないと思うので、ぜひこの場では実際の数値というのをを見せていただけたほうが、よりその結果についての理解は深まるかと思います。

あと、人数が少ないということで、その平均に意味があるかということもあるとは思いますが、ただ、実際に生徒がどの位置にいるかというのを見るというのが大事だと思いますので、そういう意味でもこの場では見せていただきたいと思っています。

また、傾向という話で先ほども学習時間と放課後の計画とかの結果という話がありました。全体的な傾向というのは、確かにそういう傾向はあると思いますが、僅か10人の生徒に対してその傾向と一致しているか一致していないかとか、少人数でやっているからこそ、個別に見ていってどうかというところもあるので、少人数だから平均が分からなくて全体的な傾向はこうですではなく、少人数なので、それに対してどういうアプローチをしていくかというのが、やり方自体は少人数でも大人数でも同じような対策の書き方になってきまして、せっかく少人数であればその人に合わせた結果に対してのフォローというか、その指導の仕方を変えとか、10人なので、その中で個別に指導した結果として、全員が同じところが苦手というのは実際は出てくるのか出てこないのか、そのような、少人数だからこそそのまとめ方というのが、もう少しあってもいいのかなというふうに感じました。

教育長 後段のほうは、実際には学校で一人一人のデータがありますので、データに基づいた指導というのは、当然やっていると思います。それから数値について、平均しか見せられないので、個別データは難しいと思います。

星委員 先生方はきちんとやっていると思っていますが、やっているというのがうまく伝わるかいいなと思っていますが。

教育長 おっしゃっている意味は分かります。できるだけ工夫してお見せすることはできるようにします。ただ、一人一人となると一般的な平均のものをを見ていただいて、それで判断していただくしかないと思います。（「平均と上下限ぐらいは」の声あり）

指導主事 上下限、例えば国語の問題だったら、国語の最高点が何点で最低点が何点で、という意味での上下限ですか。（「はい」の声あり）

星委員 事実を知ることが大事だと思います。別に個人を特定して責めるとかではない。

教育長 平均については、これは見せることできると思います。現実的には、ここにも書いてありますが、前期課程は理科を除いて、全て県と国を上回っています。ぜひ教育委員さんには知っておいてもらってもいいと思います。公表の仕方についてはこちらにお任せいただきたい。

菅野委員 似たような質問というか、全く違うか私には頭の中整理がつかないのですが、はっきり言って平均的な数字というのは興味がないです。むしろ、少人数だからこそばらつきがあるのかとか、一人一人こういうふうに工夫してやっていますよとか、そういう事実が見たい。そのためには授業を見させていただきたい。次回

は学校の参観もあるので、その辺も併せて先生方が一人一人にどういう工夫をされているのか、そこを知りたいわけですよ。

教育長 再度申し上げますが、一人一人の生のデータはお見せできません。

ただ、最初の挨拶でも言ったように、学力の伸びというのは全ての学年においてほぼ右上がりとなっています。これは大変立派で、学校にもあさって校長会があるので、これまでの学力向上策を継続すること。それから、アンダーアチーバーは令和3年度の結果では全体で3名、これは非常に少ない数ですが、少ないからといっていいわけではなくゼロに近づくように、改めてこれについても校長会で話をしたいと思っています。

それでは、よろしいですか。高橋委員、庄司委員、よろしいですか。（「はい」の声あり）

では、続きまして、これ資料の説明をお願いします。

教育課長 （資料に基づき説明）

教育長 教育委員の研修会2つありますね。研修会について何か質問等ありますか。

ほか諸報告、生涯学習課、お願いします。

生涯学習課長 （資料に基づき説明）

教育長 それでは、今も含めて諸報告について全体で何かございますか。

それでは先に進みますが、先ほど少し出しましたが、村外の子供たちに対して入学時のメッセージを送ったほうがいいのではないかというのが、住民懇談会と昨日の決算審査委員会でも出されました。村外の子供たちが忘れられているのではないかというご心配で、せめて入学のときにメッセージを送ったらいいのではないかということです。これについて委員の皆さんからどうですか。

菅野委員 村に入った子供たちに特別にやっていない。それ以外に何かおめでとうというものをやっているのであれば、それはそうですねという気持ちも分かりますが、それがなければ、わざわざやる必要ないと私は思います。

教育長 皆さんは近い立場でいらっしゃるので、地域の方からそういう声を聴いたことがありますか。

菅野委員 教育に関してばかりではなく、ほかにもやっぱり村にいる子供と村外の子供たちと違うねというふうに。逆に言えば、村外から村の学校に通っているけど、特別なものがそこにはないという声。制服とか給食とかいろいろあるけれども、だからといって何か変わったものがあるかという、そんなにでもないという声も逆に聞こえたりします。大人になると、もっとシビアな話であり、村に入ってきた人、移住してきた人には支援があるけど、村にUターンしてきた者については何もないと。これもどうなんだという、大人バージョンですね。そういう声も実はないわけでもない。だからその声は非常に、震災から12年たつと、もう受けるものもなくなってきたので、何かしらそういう気持ちは若干分からないような分かるような難しいところがあるなと思ったりします。元に戻すと、私の意見としては、わざわざその必要はないのではないかなというふうに思います。

教育長 どうですか。そう言う声聞きますか。

菅野委員 例えば、幼稚園はこちらだけれども入学から外に、そこからという、それについては考えがそうねえということはあったにしても、もう幼稚園も全部村外だっ

たらそれは必要ないなというふうに。ましてや、小学校は避難してからだと思えますし、生まれたときは飯舘でもないわけですから。

高橋委員 住民票が飯舘にある子供は、実際何人くらいいるのか、ここも確認しないと。

教育長 就学率が2割くらいですか。（「そうですね」の声あり）単純にいったら4倍くらいは。

高橋委員 4倍ですか、住民票があつて村外の学校に行ったという。

教育長 今の小中学生に限ってはほとんど村に住んだことはないだろうし、村の記憶もほとんどないかもしれないです。その子供たちに村からメッセージ送って心に響くのか、届くのかということと、それから、残念ながら村出身と知られたくないという方もいるのも現実だという話です。

星委員 飯舘村の学校に通えるという条件で、バスで村外から来ているということですけれども、その村外の子供という定義が住民票があるということであって通うことができる子供に対して、できれば来てほしいという思いはあると思います。1年生のときは来なくても4年生や5年生になったときに、親の都合とかいろんな事情でもしかしたら来るかもしれないとは思ったりもします。そういうのも含めて、公平性というのであれば、村内に住民票がある子供と決めて、一斉に入学おめでとうというのを送るのはいいと思います。そこに、自分が行く学校じゃないのに何でという疑問はあるかもしれないですけども、そこは村内に住民票がある方に送っていますというのがあれば、別に何も否定されることはないと思うので、そういう送り方であればいいのかなと。そこにQRコードか何かで飯舘村の学校の様子が分かるような、何か伝える方法も追加してあげると、親の選択としても子供の選択としても、今この自分の近くの学校じゃなくて、戻れば通えるところもあるという選択の可能性を伝えておくのも悪いことではないかなと思います。目的としては多くの子供に来てほしいという思いがあるので、少しでもその可能性があるならば、私は、送り方はよく検討するにしても送ったほうがいいのかなというふうには思います。

高橋委員 広報やお知らせ版はその家庭には届いているんですよね。

教育長 成人式には、全家庭に均等に全員にお祝いのメッセージカード送っています。決して忘れていたわけではないですけども、とにかく、そういう話を実際に聞いたことあるという方がたくさんいれば考えなければなりません、庄司委員は、どうですか。

庄司委員 特には聞いたことがないので、結局住んだことのないところから子供たちに送られても、なんじゃこりやというふうになるのかなと。親の策で村外の学校に通わせているので、要るのかな、要らないのかな、どうなのかなというのはあります。

教育長 広報は全家庭に送っており、（「ないがしろにはしていない」の声あり）その中に飯舘の教育についても記載があります。

高橋委員 お知らせは平等にしているのでいいのではないのでしょうか。

教育長 今日聞きたかったのは、皆さんのアンテナにそういう方がたくさんいらっしゃるのかどうかということでしたが、参考になりました。ありがとうございます。

12 日程第5 その他

教育長 それでは、日程第5に進みます。

次回については先ほどありましたが、25日の9時10分に学校のほうに来ていただいて授業を見て、定例会議をやって、給食を食べていただいて1時頃には終わるという予定です。

11月についてですが、24日木曜日の3時でどうでしょうか。（「大丈夫です」の声あり）24日の15時ということで入予定を入れてください。

次回11月24日木曜日の午後3時。

ありがとうございます。では、課長のほうにお返しします。

13 閉 会

教育課長 慎重審議ありがとうございました。これをもちまして、令和4年9月の定例教育委員会を終了させていただきます。お疲れさまでございました。

午後5時00分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育長

遠藤 望

教育委員（教育長職務代理者）

高橋 祐一

教育委員

菅野 七二

教育委員

星 弘幸

教育委員

庄司 智美

書記：教育課長 高橋 政彦